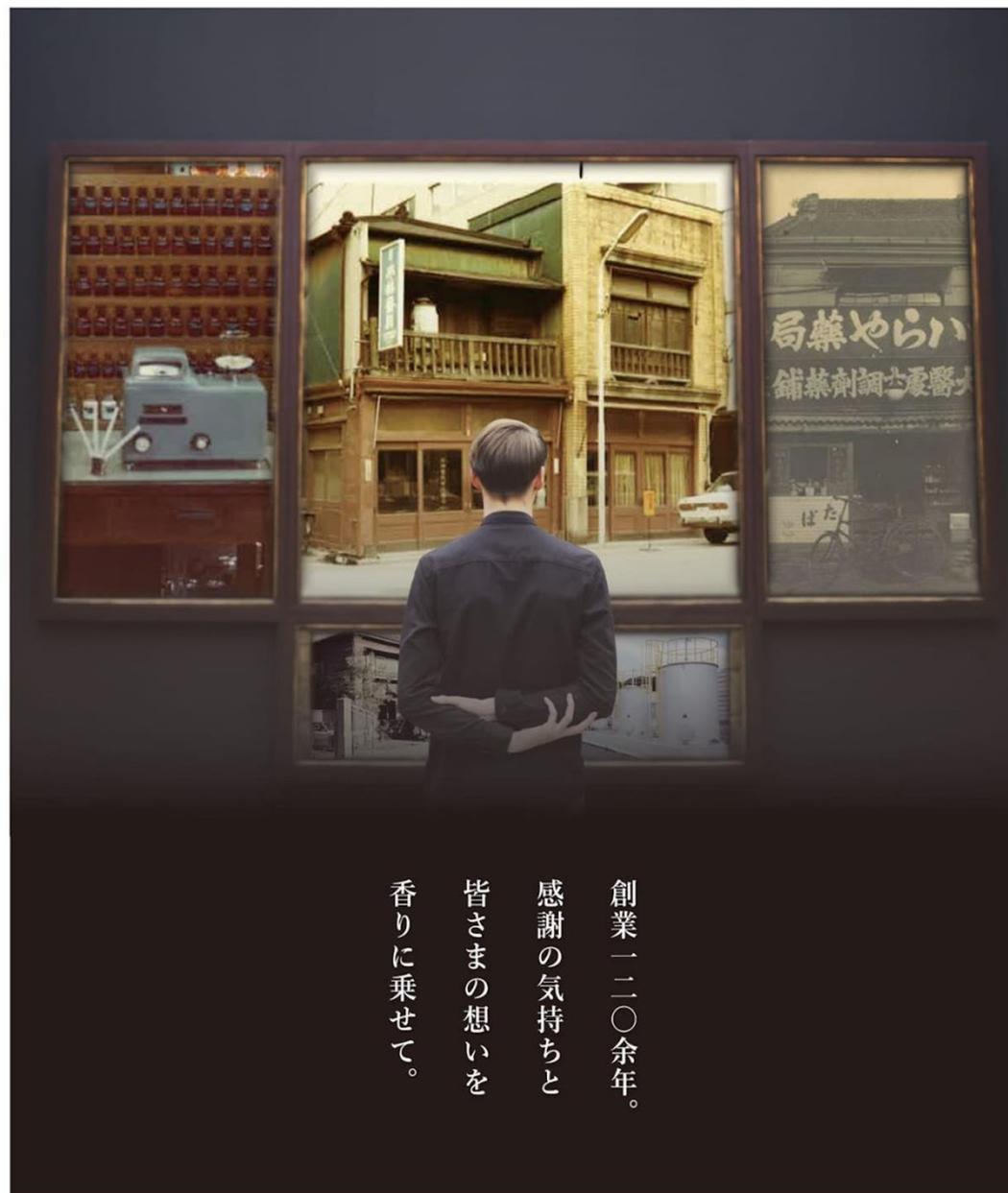


CSRLレポート 2024

小林香料株式会社





小林香料について

- p.2 トップメッセージ
- p.4 理念体系
- p.6 CSR運用体制
- p.8 SDGsとのつながり

CSR活動報告

- p.9 お客様・仕入れ先様
- p.12 周辺環境
- p.20 従業員

おわりに

- p.25 会社概要
- p.26 編集後記

編集方針

このレポートは、全てのステークホルダーに対して当社がどのような考え方に基づいてCSR活動に取り組んでいるのか報告するものです。

「小林香料について」では、当社の理念体系やCSR運用体制を掲載しています。
「CSR活動報告」では、小林CSR基本方針に基づいて、取り組んだ内容を報告しています。

[対象期間] 2023年度(2023年4月1日～2024年3月31日)

[対象範囲] 小林香料株式会社 全社(本社・市川研究所・米沢工場)

「四方よし」と 儲け続けることで、 社会に貢献する 企業を目指す



小林香料株式会社
代表取締役
小林正幸

私の経営理念は「四方よし」です。基本的な考え方は近江商人の教え「三方よし」の「売り方よし」、「買い方よし」、「世間よし」であり、それを少し分解・再定義したものです。

「四方よし」は我々の製品やサービスを購入していただくお客様、原料や資材を供給して下さる仕入先様、我々を取り巻く様々な環境、そして従業員やその家族を四方とし、関わる全ての人々が等しく幸せと喜びを共有できる世界を目指しています。

一見綺麗ごとのように思われるかもしれませんが、「四方よし」の考え方は事業継続の為に必要不可欠な考え方であると私は考えています。すなわち、それを実現できなければ、その企業はやがて世の中に必要とされなくなり、市場から退場を余儀なくされるという認識です。したがって、その危機感を社内で共有し、その教育にも取り組み、「四方よし」を実現することが私の使命と考えています。

トップメッセージ



また、当社の基本方針は「儲け続ける」です。営利を目的とする企業である限り利益を追求するのは当然で、利益がなければ企業は存続すらできません。しかし、もし方針を「儲ける」とした場合、儲ける為には何でもありになりかねません。

一方、「儲け続ける」ですが、この「続ける」が入った事で、様々な取り組みが必要になってきます。我々は利益を出し続ける為に顧客の満足度を上げ続けなくてはならず、そのためには従業員のモチベーションも常に高いレベルで必要となってきます。また、当然ながら製品の製造に関しては、仕入先様と良好な関係が不可欠です。さらに周辺環境への配慮や関連業界との良好な関係は事業を継続する上で必須の条件となっています。

このように「四方よし」や「儲け続ける」はCSR活動と直結しており、当社120年余の歴史から学んだ事業継続への知恵でもあると理解しています。今後ますますの事業発展の為に私達はCSR活動に真摯に取り組んでいくことをここに宣言します。

経営理念である「四方よし」を考え方の基軸にすえて、
持続可能な社会の発展と共に、企業としての持続的な発展を目指しています

企業理念

お客様の満足を第一に高い技術力で幸せと喜びを創造する

行動理念

**私たちは、関わるすべての人をお客様と考え、
最高のサービス提供に努めます**

**私たちは、これまでの経験や知恵を生かし、
常に技術力の向上に努め、
お客様に安心・安全と満足をお届けします**

**お客様の幸せや喜びは、私たちの幸せと喜びであり、
共に新しい価値を創造し続けます**

理念体系

行動指針

まごころ

- 誠意** 「ありがとう」の気持ちを忘れずに、正直さと熱意をもって仕事に取り組みます
- 義** モラルとマナーの向上を心がけ、笑顔とコミュニケーションを絶やさぬように努めます
- 礼** 感謝の心を忘れずに、謙虚な姿勢で接します
- 丁寧** 思いやりのある、細やかな対応を心がけます
- 法順守** 法令遵守はもとより、周辺環境にも配慮を怠らず、高い倫理観を持って行動します

迅速

- タイムリー** 求められるときに、求められるものを提供するため、今を大切にします
- スピード** 各部門が協力し、最善・最速を基本として対応します
- 納期厳守** 全てのシステムを最大限に活用し、責任を持って約束の期日を守ります

正確

- 高品質** 安全な製品と安心できるサービスを安定して提供できる、より質の高い業務に努めます
- 的確性** 要望を正しく理解し、期待される成果に向け確実に取り組みます
- 無事故** 安全と健康に関する法令を遵守し、事故や災害のない、環境に配慮した業務を目指します

〈小林クレドカード〉

The graphic displays the 'Kobayashi Cred Card' with the following content:

- 企業理念** (Company Philosophy): お客様の満足を第一に、高い技術力で、幸せと喜びを創造する。 (Customer satisfaction first, high technical skills, creating happiness and joy.)
- 行動理念** (Action Philosophy): 私たちは、関わるすべての人をお客様と考え、最高のサービス提供に努めます。 (We consider everyone we interact with as a customer and strive for the best service.)
- 行動規準** (Action Standards): まごころ (誠意・義・礼・丁寧・法遵守), 迅速 (タイムリー・スピード・納期厳守), 正確 (高品質・的確性・無事故).
- 行動指針** (Action Guidelines):
 - 誠意**: 「ありがとう」の気持ちを忘れずに、正直さと熱意をもって仕事に取り組みます。
 - 丁寧**: 思いやりのある、細やかな対応を心がけます。
 - スピード**: 各部門が協力し、最善・最速を基本として対応します。
 - 的確性**: 要望を正しく理解し、期待される成果に向け確実に取り組みます。
 - 義**: モラルとマナーの向上を心がけ、笑顔とコミュニケーションを絶やさぬように努めます。
 - 法遵守**: 法令遵守はもとより、周辺環境にも配慮を怠らず、高い倫理観を持って行動します。
 - 納期厳守**: 全てのシステムを最大限に活用し、責任を持って約束の期日を守ります。
 - 無事故**: 安全と健康に関する法令を遵守し、事故や災害のない、環境に配慮した業務を目指します。
 - 礼**: 感謝の心を忘れずに、謙虚な姿勢で接します。
 - タイムリー**: 求められるときに、求められるものを提供するため、今を大切にします。
 - 高品質**: 安全な製品と安心できるサービスを安定して提供できる、より質の高い業務に努めます。

理念体系をまとめたクレドカードを全従業員が携帯しています。行動理念・行動指針は従業員一人一人の言葉や想いを含み、従業員自らの手で作り上げた内容となっています。

CSR経営を目指して

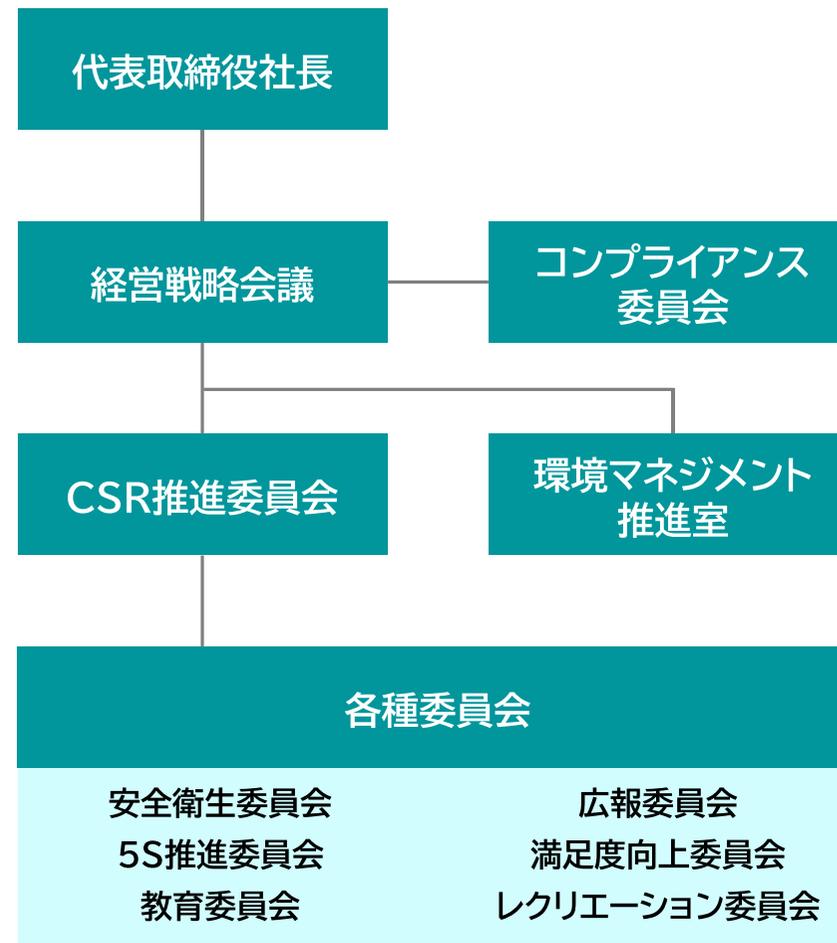
企業は、経済社会の発展に不可欠な存在であると同時に、社会や環境に大きな影響を与えることを認識し、企業の社会的責任(CSR)を率先して果たす必要があります。

当社でも全社的かつ継続的にCSRに取り組むべく、2021年7月に「CSR準備委員会」が発足しました。2021年度は小林CSR基本方針を定め、ボトムアップによるCSR活動を推進すべく、従業員への周知など土台作りを行いました。

2022年度からは「CSR準備委員会」を「CSR推進委員会」と改称し、基本方針に則り、各種委員会と共に協働し、取り組みを進めてまいります。

また、エネルギーや資源の使用量、環境負荷の監視を継続的に行うべく、2022年4月から「環境マネジメント推進室」を設置しました。環境目標を設定し、全社的に自然環境への負荷を低減させる取り組みもスタートしました。

CSR推進体制



※2023年5月1日時点

小林CSR基本方針

私たちはあらゆるステークホルダーの立場を尊重し、
化粧品・食品・化成品の3つの事業を通じて、
四方よしの実現とその継続を目指します

四方よし

お客様・仕入れ先様

- ① 安心安全な製品供給
- ② 危機管理対策
- ③ 信頼性構築
- ④ 情報発信

周辺環境

- ① 環境保全への取組み
- ② 公私ともに広がる
ネットワーク

従業員

- ① 働きがいの向上
- ② 人材育成
- ③ 適切な雇用関係
- ④ 社会変化への対応

小林CSR基本方針の作成

従業員のCSR理解と価値観の共有、CSR活動を意識した委員会組織の再編を目的として、「CSR準備委員会」が設置されました(2021年7月)。準備委員会では当社の“ありたい姿”を描き、その姿の実現するために必要な行動を考え、そこから作り上げたものが小林CSR基本方針となっております。

持続可能な社会の実現にむけて

小林CSRとSDGs

当社は小林CSR基本方針に基づいて、事業活動を通じて、四方よし(お客様・仕入れ先様・周辺環境・従業員)の実現を目指しています。

また、社会の一員であることを自覚し、経済・社会・環境が抱える根本的な課題解決にも取り組み、持続可能な社会の構築にも貢献してまいります。



IFRA-IOFIサステナビリティ憲章

当社が加入する日本香料工業会は、国際的な団体であるInternational Fragrance Association(国際化粧品香料協会:IFRA)とInternational Organization of the Flavor Industry(国際食品香料工業協会:IOFI)の会員です。

当社は日本香料工業会を通じて、IFRAとIOFIが共同で立ち上げた上記サステナビリティ憲章に署名しております。引き続き、憲章の趣旨に賛同し、持続可能な社会の実現に向けて貢献できるよう取り組んでまいります。



さらに信頼される企業を目指して



リスクマネジメント

事業継続計画(BCP)への取り組み

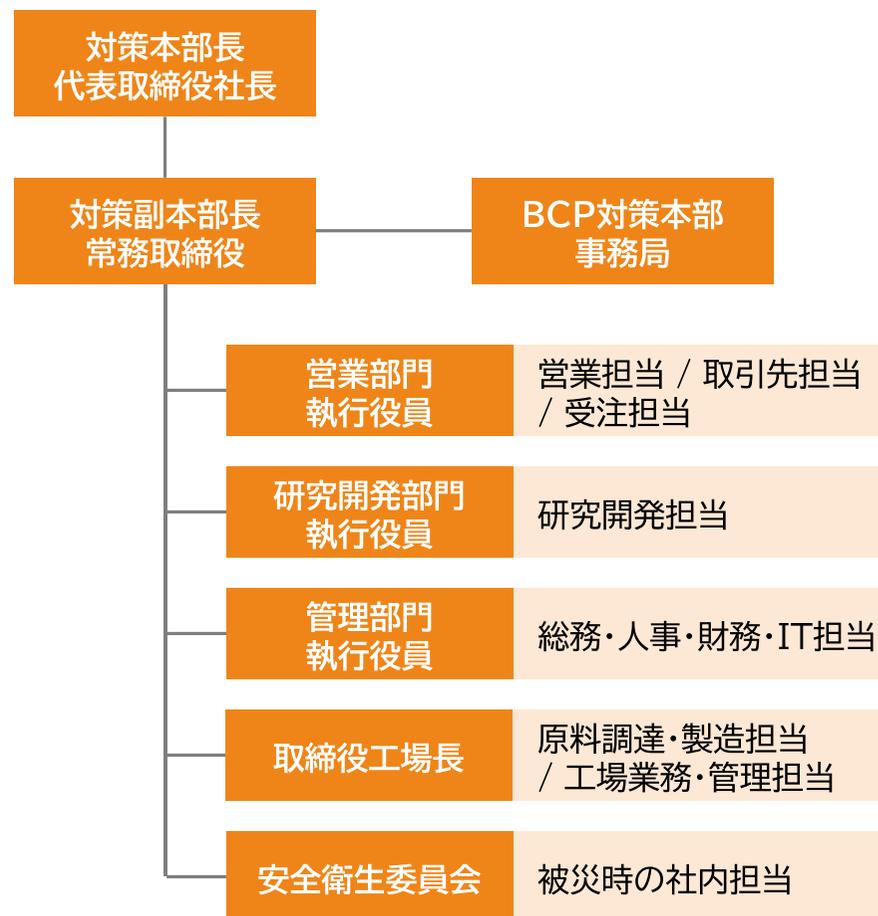
不測の事態が発生した際、従業員の安全確保と事業活動への影響を最小限にするため、当社では2021年度に事業継続計画書を策定し、その運用を開始しています。

緊急時はBCP対策本部組織が中心となり、必要かつ適切な対策を検討し、迅速な対応をとっていきます。

BCP対策本部組織の主な役割

1. 対策本部では関係する情報を収集し、対策副本部長の指示のもとで影響の範囲を特定し、必要かつ有効な対策を決定する
2. 対策副本部長は対策本部長へ報告、必要な指示を仰ぐ

BCP対策本部組織



BCP模擬訓練の実施

事業継続計画書の策定後、定期的に模擬訓練を行っています。BCP対策の周知と問題点の抽出を目的として、2023年もシミュレーション型の模擬訓練を2度実施しました。

2023年8月、日本本土全体での大規模地震を想定し、社内の被災状況の確認と停電対応をテーマに掲げたシミュレーション型訓練に取り組みました。訓練時に抽出された課題を基に、2024年2月には大規模地震後の迅速な対応計画の策定をテーマに掲げ、前回抽出された課題の改善効果の確認と新たな課題の抽出を行いました。

より実践的なものを目指して

2024年1月の令和6年能登半島地震では、従業員への安否確認や運送事業者様への状況確認が迅速に行われ、模擬訓練で培った経験を活かすことができました。これからも模擬訓練を通して、課題の抽出と改善を繰り返しながら、BCPの実効性をさらに高めてまいります。

[2021年度]

- 事業継続計画策定（2021年5月）
- 模擬訓練/ウォークスルー型（2021年7月、12月）
- BCP潜在リスク評価会議（2022年2月）

[2022年度]

- 模擬訓練/ウォークスルー型（2022年9月）
- 模擬訓練/シミュレーション型（2023年2月）

[2023年度]

- 模擬訓練/シミュレーション型（2023年8月）
大規模地震後の被災状況確認と停電対応
- 模擬訓練/シミュレーション型（2024年2月）
大規模地震後の迅速な対応計画の策定

お客様・仕入れ先様

非常用発電装置によるBCP強化

災害発生時の従業員安全確保と事業継続が可能な体制を整えるため、東京都の補助金制度を活用して、小型非常用発電装置を導入しました。

災害や予期せぬ停電時でも、サーバーや重要な電気設備への電力供給が可能となりました。今後、米沢工場および市川研究所への非常用発電装置の導入についても検討を行う予定です。



小型非常用発電装置(本社/2023年4月に導入)

当社BCP対策が紹介されました

2023年10月18日、NHKの首都圏ネットワーク・シュトボーで当社のBCP対策が取り上げられました。また、定期的な模擬訓練を通して、BCPをブラッシュアップしている企業として、月刊食品工場長に掲載されました。



日本食糧新聞社「月刊食品工場長」
2024年3月号

環境保全への取り組み



環境目標への取り組み

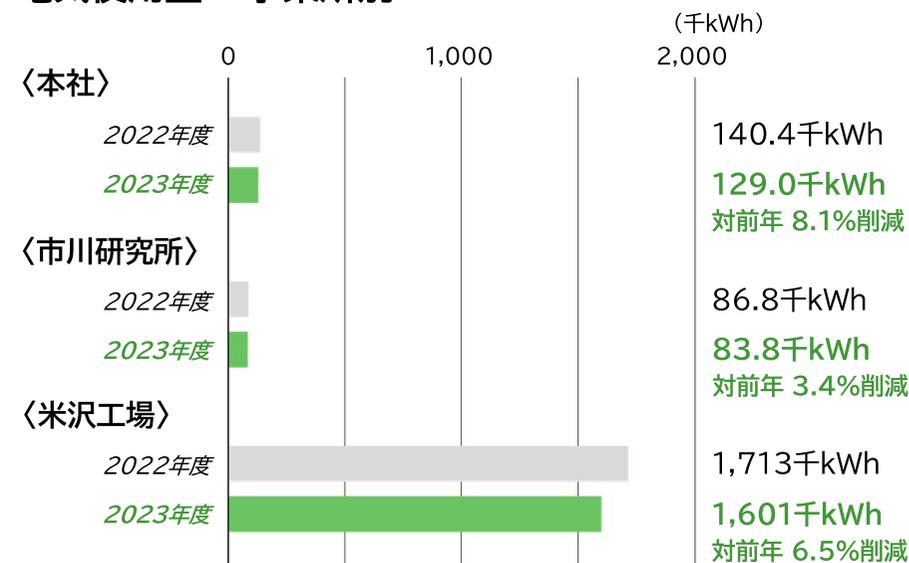
2022年4月に設置した環境マネジメント推進室を中心として、環境目標の設定とその達成を目指しています。

なお、2022年度の未達成項目でした電気使用量の削減については、具体的な行動計画を設定して重点的に取り組みました

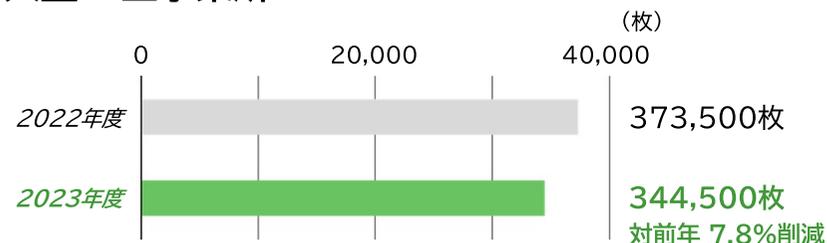
〈2023年度環境目標〉

- ①電気使用量 1%削減
事業所別の削減目標
 - 本社 : 1%
 - 市川研究所 : 0.5%
 - 米沢工場 : 1%
- ②コピー用紙購入量・使用量の削減
全種用紙購入量合計 3%削減
※購入量換算として算出
- ③重油使用量削減

電気使用量：事業所別



紙購入量：全事業所



①電気使用量 1%削減

各事業所とも電気使用量の大幅な削減に成功しました。全社で前年対比6.5%の削減となり、環境目標を達成しました。

本年度は具体的な行動計画を設定し、全社的に取り組んだ結果といえます(行動計画:ノー残業デーの設定、昼食時の消灯、LED灯への交換)。また、環境マネジメント推進室では社内ポータルサイトで毎月の電気使用量を掲示し、従業員の節電意識の維持・向上にも努めてまいりました。

②コピー用紙購入量・使用量の削減

2023年度は7.8%の削減を達成しました。社内システムのクラウド化がすすみ、ペーパーレスの意識が浸透した結果といえます。

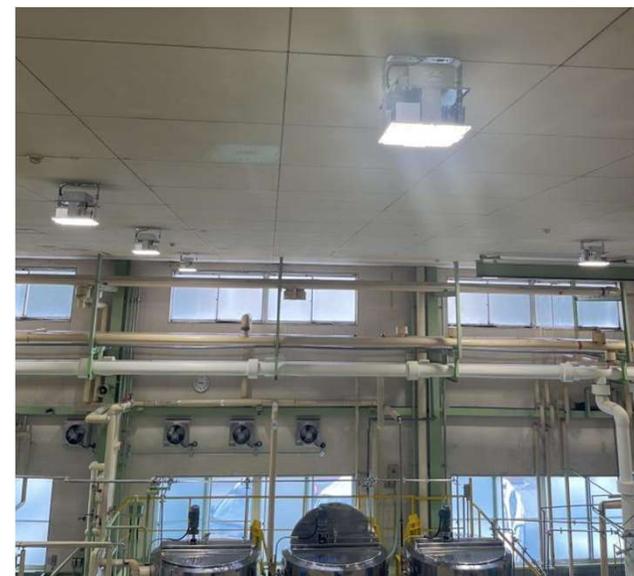
③重油使用量削減

地球温暖化防止への取り組みの一環として、2023年度から新たに環境目標に加えました。初年度は具体的な数値目標は設定しておりませんが、前年対比で2.7%の削減となりました。

ノー残業デーの設定

節電対策の一環として、「ノー残業デー」を導入しました(2023年6月開始、対象:全事業所)。

全従業員が毎週水曜日に定時退社することで、各事業所の夜間消費電力の削減を目指しました。その取り組みの効果もあり、2023年度の環境目標が達成されました。今後は節電対策の活動としてだけでなく、ワーク・ライフ・バランスにもつながる取り組みとして継続していきます。



LED灯への切り換え(米沢工場)

電気の「見える化」で省エネ対策

市川研究所では電気使用量の運用改善を目的として、2023年11月から電気の「見える化」で省エネ対策をスタートしました。

「見える化」には2つのツールを活用しています。まず、SMARTMETER ERIAで電力の使用状況を“数値”とニコちゃんの“表情”で「見える化」しています。そして、刻々と変化する使用状況をリアルタイムで把握できるSMART CLOCKです。SMARTMETER ERIAで設定した値に対して、電気使用量がオーバーしそうになると“色”や“音声”で警告してくれます。



SMARTMETER ERIA

この2つのツールは共用スペースに設置しています。個人のスムーズな省エネ行動につなげるべく、従業員が確認しやすい場所に設置しました。また、なんとなく取り組んできた消灯やエアコンの設定温度の調整などが数値として省エネ効果を確認できるようになったことで、さらに節電意識が高まり、環境目標の達成にもつながりました。

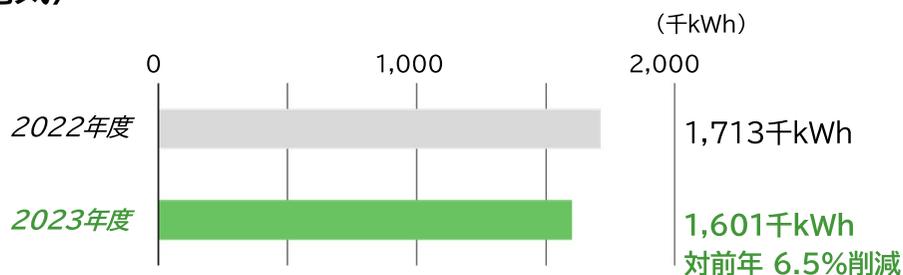


SMART CLOCK

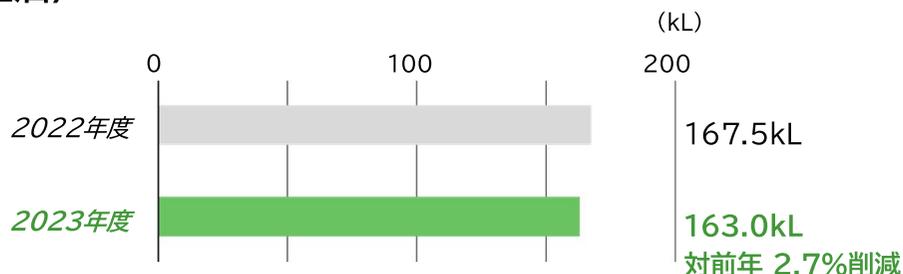
環境データ推移 [米沢工場]

● エネルギー

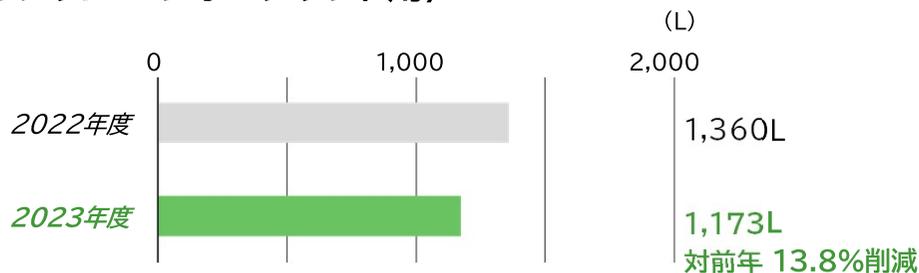
〈電気〉



〈重油〉



〈ガソリン：フォークリフト用〉



生産拠点である米沢工場では、事業活動に伴いエネルギーや水資源を大量に使用しています。

特に、電気および重油使用量については環境目標を設定し、従業員一人一人がエネルギー使用量の削減に対する意識を持ちながら業務しています。

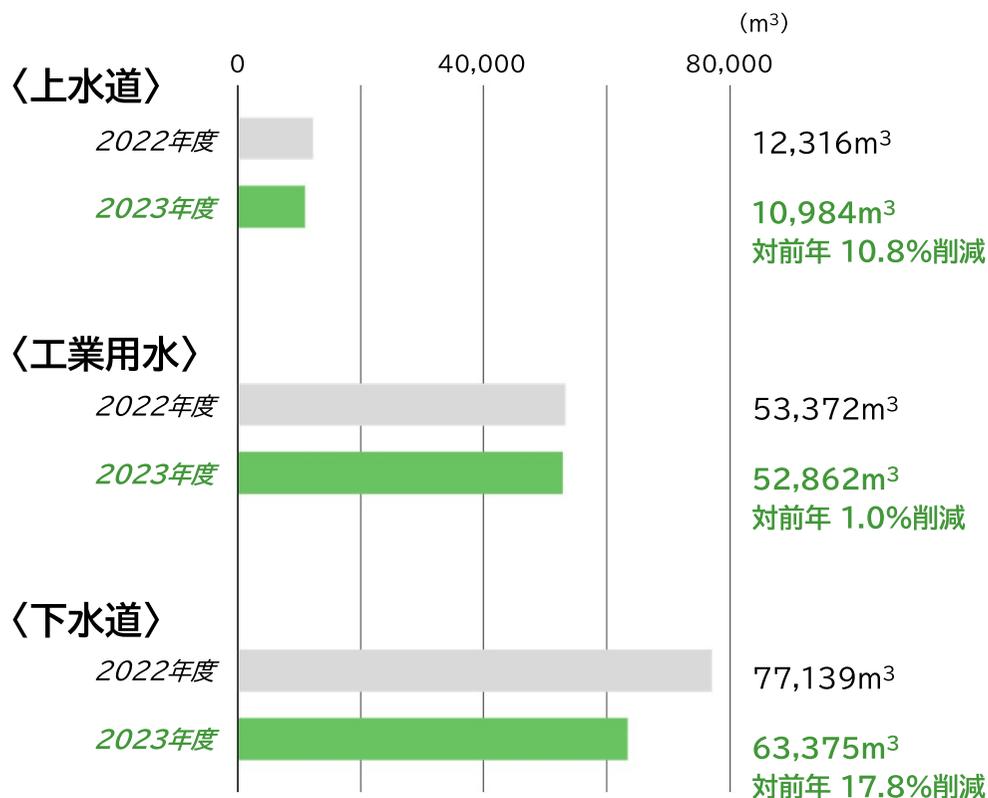
2023年度はすべての項目で昨年対比での使用量削減を達成しました。エネルギーの効率的な使用と使用量の削減に対して、継続して具体的な行動目標を設定しながら取り組んでまいります。



周辺環境

● 水資源の保全

当社の生産活動には水資源は欠かせません。引き続き、水資源の保全を意識しながら、適正使用に努めてまいります。



● 工場排水測定結果

米沢工場の排水水質については八幡原工業団地で定める基準を満たす水質を保つことができます。また、毎月の水質検査で常に数値を確認しています。

検査項目	基準値 注1	2022年度	2023年度
水素イオン濃度 (pH)	—	7.81	6.53
SS (mg/L) 注2	—	<1.0	4.6
BOD (mg/L) 注3	<600	9.6	115.3
COD (mg/L) 注4	<600	3.2	44.8

注1 : 八幡原工業団地における排水基準値

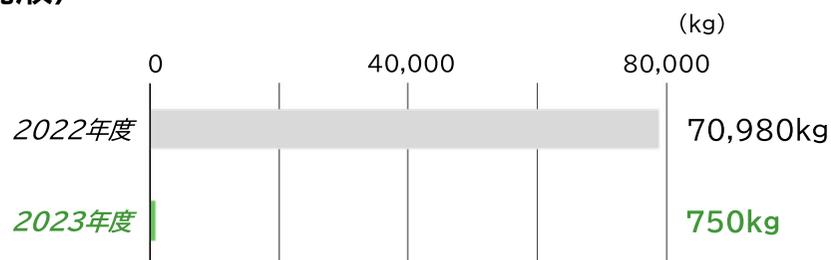
注2 : 浮遊物質量

注3 : 生物化学的酸素要求量

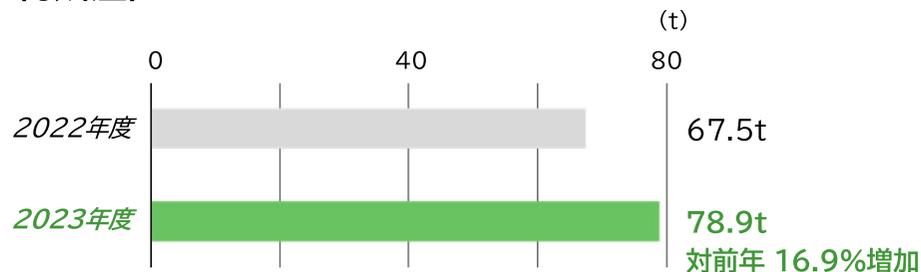
注4 : 化学的酸素要求量

● 廃棄物排出量

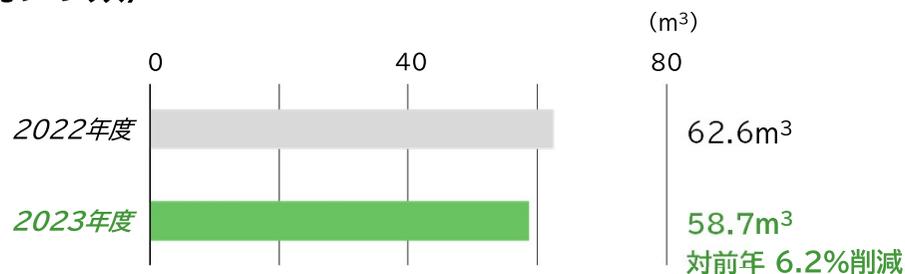
〈廃液〉



〈植物残渣〉



〈廃プラ類〉



SDGsや環境負荷の低減を意識しつつ、継続的な廃棄物の低減に努めています。

化成品事業における製造品目の変更によって廃液量は昨年に比べて大きく減少しておりますが、植物残渣の排出量が昨年を上回る結果となりました。

メーカーとして、生産量あたりの廃棄物量の直接的な削減は困難ですが、今後も排出抑制やリサイクル等に積極的に取り組んでまいります。



地域社会とのコミュニケーション



NPO法人「はな街道」への参加

NPO法人「はな街道」が年2回開催している『夏クリーンウォーク2023』に社員8名が参加しました(2023年7月)。

日本橋本町四丁目から京橋三丁目までの「中央通りはな街道エリア」のごみ拾いと花壇の手入れを、加盟企業様と一緒に行いました。

今後も地域の皆さまとともに、さまざまな活動に参加してまいりたいと思います。

はな街道

名橋「日本橋」保存会・日本橋地域ルネッサンス100年計画委員会が官民パートナーシップで行っている美化活動。国際都市東京のメインストリートにふさわしい「景観の保全」と「さらなる賑わいの創出」を目指して取り組んでいる。



夏クリーンウォーク2023(2023年7月)

八幡原工業団地 環境美化活動への参加

米沢工場がある八幡原工業団地では定期的に美化活動が行われています。このうち、2023年8月には花壇の植栽とクリーン作戦が同時に実施されました。当日はあいにくの天気でしたが、協議会加盟企業の皆さまはじめ、約120人の参加者と地域の環境保全に取り組みました。



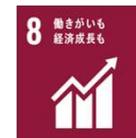
八幡原工業団地の美化活動
万世上郷線の中央分離帯花壇にマリーゴールドを植栽
(2023年5月)

また、定期的に構内の美化活動も行っています。生産性の向上や無事故・無災害などにつながることを考えており、今後も気持ち良く働ける職場環境整備を継続していきます。



米沢工場5S活動(2023年8月)

働きがいのある職場環境をめざして



ハラスメント対策

ハラスメントの防止

2022年4月、労働施策総合推進法(通称:パワーハラ防止法)が施行され、全企業でパワーハラスメント防止措置が義務化となっています。当社では2023年4月に「職場におけるハラスメントの防止に関する規程」を制定し、パワーハラスメントやセクシュアルハラスメント、妊娠・出産・育児休業に関するハラスメントの防止策を明確に決めました。

また、コンプライアンスの徹底を監督・支援するために、新たにコンプライアンス室を設置する予定です(2024年度予定)。引き続き、全従業員と共に、コンプライアンス重視の経営を確実に実践できるよう努めてまいります。

ハラスメント研修の実施

米沢工場の全従業員を対象として、外部講師によるハラスメント研修を開催しました。当日は階層別(一般社員・管理職)に講義やグループワークを通して、ハラスメントに関する理解や従業員同士のコミュニケーションなどを学びました。

2024年度は本社・市川研究所でも外部講師による研修を予定しています。



ハラスメント研修(2024年2月)

誰もが安心できる職場環境へ

F PROJECTの発足

F PROJECTとは「Femtech(フェムテック) PROJECT」の略称であり、2023年7月に安全衛生委員会と満足度向上委員会の女性従業員で構成される組織です。フェムテックに着目し、女性が働きやすい職場づくりを目指して活動をスタートしました。

活動初年度となる2023年度は、現在の職場環境に関するアンケートの実施や社内掲示板(Web)でフェムテックに関する情報を発信しました。また、アンケート結果を基に各事業所に女性用防災備蓄セットを新たに設置しました。

メンタルヘルスケア対策

メンタルヘルス不調の予防のため、安全衛生委員会が中心となって社内掲示板(Web)にストレスチェックなど関連情報の発信を掲載しました。また、社内ポータルサイトでも専門の相談窓口を紹介し、従業員の心の健康維持に努めています。

従業員の安全確保に関する取り組み

地震や台風、洪水といった災害や不測の事態が起こった際、事業継続を行う上で従業員の安全確認は不可欠です。年1回、米沢工場では避難訓練を実施しており、2023年度も避難経路の確認と避難後の点呼確認を行いました。また、災害時の従業員安否確認をより速やかに把握できるようにするため、安否確認システムによる従業員の安否確認訓練を年2回実施しました。

地域防災活動への参加

首都直下地震等による東京の被害想定では帰宅困難者が約450万人にもものぼるといわれております。当社(本社)は「中央区帰宅困難者支援施設運営協議会」に協議会員として活動しています。

2023年度は茅場町駅と連携した駅利用者保護訓練に安全衛生委員会メンバーが参加しました。引き続き、全社的に災害時の対応力と防災意識の向上に努めてまいります。

人材育成への取り組み

個人の成長こそが、会社の成長につながるという考えのもと、従来の「査定評価型」から「育成評価型」へと進化しました。

新たな評価システムの導入

役職の種類と役割、評価方法、給与決定プロセスなどの人事評価制度を見直し、そのすべての情報をまとめた人事ガイドラインと評価マニュアルを作成しました。そして、個人・部署・会社の成長を促すために、社員一人ひとりの「何を」、「どのように評価」し、「どのように処遇するのか」をルール化しました。

評価者研修の実施

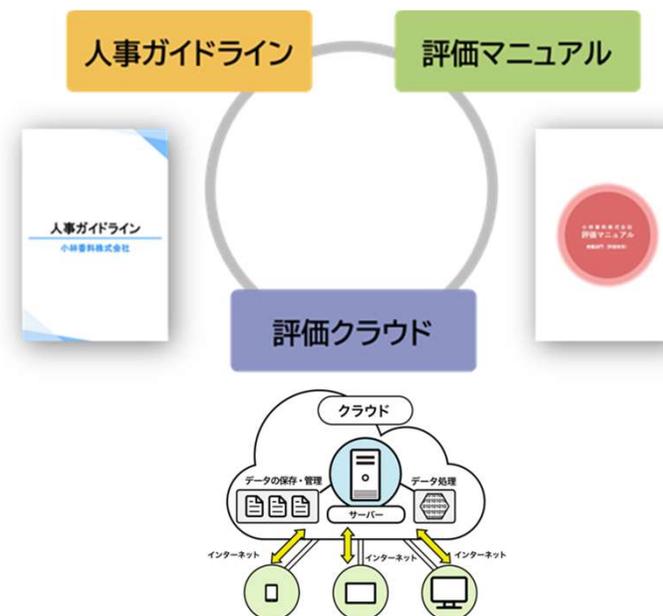
新システムを組織強化ツールとして効果的に活用するため、評価者を対象とした研修を行いました。

導入初年度となる2023年度は、中間レビューと期末評価後に階層別のフォローアップ研修を開催しました。

人事評価システムのクラウド化

新たな評価システムを導入するにあたり、クラウドベースでの人事評価システムに移行しました。

評価情報が一元管理されたことで評価者や人事担当者の業務負担軽減が期待されるとともに、デバイスを選ばずいつでもアクセスできるようになったことで全従業員が自身のたてた目標を自己管理しやすい環境となりました。



ワーク・ライフ・バランスの充実

仕事と生活の両立にむけた制度

「育児・介護」と「仕事」を両立しやすい環境づくりを目指して、各種制度を整備してきました。引き続き、制度を取得しやすい職場環境整備に注力し、従業員のワーク・ライフ・バランスの充実に努めてまいります。

育児に関する制度

育児休業	子が1歳になるまでを基本として育児休業を取得することができます。さらに特定の条件を満たすと1歳6か月、さらに2歳までの延長が可能です。
出生時育児休業 (産後パパ育休)	子と同居して養育する従業員を対象に、出生後8週間以内の4週間(28日)を限度として、2回に分けて育児休業を取得することができます。
子の看護休暇	小学校就学前の子を持つ従業員を対象とし、子が1人の場合は年間5日、2人以上の場合は年間10日まで取得可能です。
所定外労働の制限	3歳未満の子を育てる従業員は、申出する事で所定労働時間を超える労働を求められることはありません。
時間外労働の制限	小学校就学前の子を育てる従業員は、申出する事で1か月に24時間、1年に150時間を超える時間外労働を求められることはありません。
深夜業の制限	小学校就学前の子を育てる従業員は、申出する事で午後10時から午前5時までの深夜業を求められることはありません。
育児短時間勤務	3歳未満の子を育てる従業員は、申出する事で所定の労働時間を午前9時から午後4時までの6時間に短縮できます。

介護に関する制度

介護休業	要介護状態にある家族を介護する従業員は、対象家族1人につき、原則として通算93日以内で介護休業を取得することができます。
介護休暇	要介護状態にある家族を介護する従業員は、申出する事で年次有給休暇とは別に介護休暇を取得できます。1人の家族の場合は年間5日、2人以上の場合は年間10日まで取得可能です。
所定外労働の制限	要介護状態にある家族を介護する従業員は、申出する事で所定労働時間を超える労働を求められることはありません。
時間外労働の制限	要介護状態にある家族を介護する従業員は、申出する事で1か月に24時間、1年に150時間を超える時間外労働を求められることはありません。
深夜業の制限	要介護状態にある家族を介護する従業員は、申出する事で午後10時から午前5時までの深夜業を求められることはありません。
介護短時間勤務	要介護状態にある家族を介護する従業員は、申出する事で家族1人につき最大3年間で2回まで、所定の労働時間を午前9時から午後4時までの6時間に変更できます。

従業員

その他の社内制度

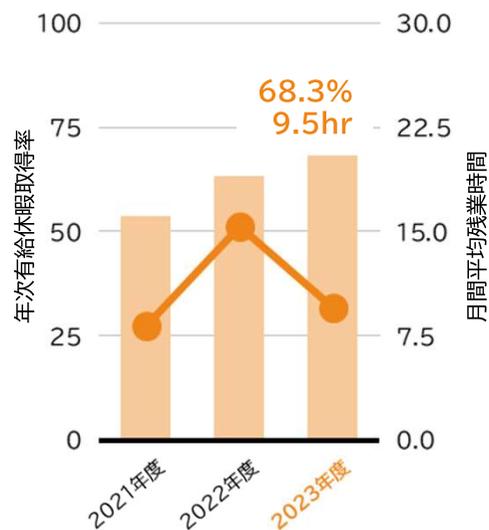
在宅勤務	新型コロナウイルス感染症対策の一環として導入したテレワークを継続しています。
時差出勤	各事業場で定める所定の始業・終業時刻を基準として、始業時刻の繰上げ・繰下げが可能です(30分単位、最大1時間)。
計画的年次有給休暇	年次有給休暇の計画的付与に関する協定を締結し、全社一斉休業日を設定しています。
その他	生理休暇、出産休暇、公民休暇、証人休暇など

●育児関連制度の利用状況(全事業所、2023年度)

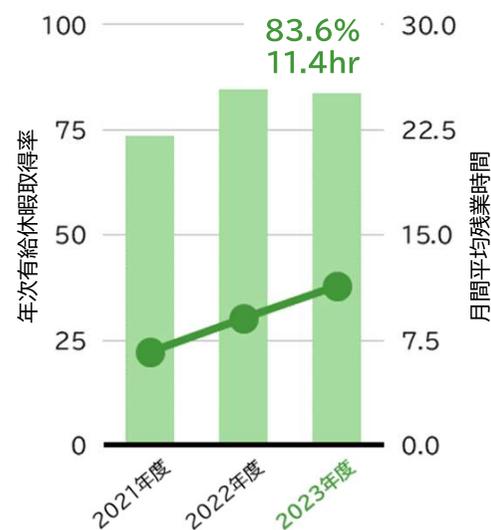
子が生まれた従業員(人)	女性	0
	男性	1
子が生まれた従業員のうち、育休取得した従業員(人)	女性	-
	男性	1
育休取得率(%)	女性	-
	男性	100
2023年度の育児休職者(人)	女性	-
	男性	1

●有給休暇取得率および平均残業時間の推移

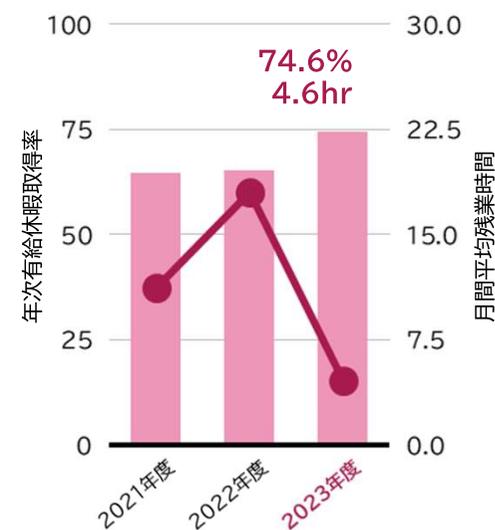
〈本社〉



〈市川研究所〉



〈米沢工場〉



■ 年次有給休暇取得率(%) ● 月間平均残業時間(hr)

小林香料株式会社 KOBAYASHI PERFUMERY CO.,LTD.

創業	明治33年1月(1900年)
設立	昭和22年7月(1947年)
資本金	50,020千円(令和4年現在)
事業内容	香粧品香料・食品香料・化粧品原料・食品原料・医薬品中間体・一般化成品の製造販売
取引先銀行	三井住友銀行 日本橋支店 みずほ銀行 日本橋支店
事業所	〈本社〉 〒103-0023 東京都中央区日本橋本町4-7-2 TEL:03-3241-3901(代) FAX:03-3241-3906 〈米沢工場〉 山形県米沢市八幡原3-446-9 〈市川研究所〉 千葉県市川市高谷2-11-14 〈海外代理店〉 RM 407, REGENT OFFICETEL KP KOREA 547-8, GUUI-DONG /韓国 KWANGJIN-GU, SEOUL 143-709 KOREA TEL:(82)2- 446-0812

「CSRレポート2024」をご覧いただき、ありがとうございます。本レポートは当社における2023年度のCSR活動をお伝えするために制作し、発行いたしました。

当社が経営理念に掲げている四方よしの「四方」である「お客様・仕入先様・周辺環境・従業員」から必要とされる存在であり続けるためには、CSR活動は不可欠です。しかしながら、2023年度は経済動向・環境変化への対応に追われ、十分にCSR活動に取り組めたとは言えない一年でした。今後は今一度、当社のありたい姿と現状のギャップを認識し、できることから着実に進めてまいります。そして、企業としての変化対応力を一層高めることで、四方よしを体現し続けたいと思います。

皆さまからのご意見やご要望は活動内容やレポートを進化させる大切なものとなりますので、ぜひ忌憚のないご意見をいただければ幸いです。

CSR推進委員会 2024年9月

オリジナルウインドブレーカーの製作

会社ロゴ付きのウインドブレーカーを製作しました。このオリジナルユニフォームを着用して、これからも皆さまとの地域活動に参加するとともに、さまざまな展示会でお待ちしております。

